

# 個性溢れるスピーチ

## 岩日タイムズ

発行者 日本大学  
岩瀬 高等学校  
高等部 新聞部  
猿山 祈 彦哉  
佐藤 彦哉

2月23日、本校4階音楽室で、第19回校内英語スピーチコンテストが開催され、今年12名の生徒がエントリーしました。

### 練習の成果 競い合う 第19回英語スピーチコンテスト

それぞれ出場者がコンテストに向けて一つひとつの単語の発音やジェスチャーなどの練習を重ね、先生からアドバイスをもらいながら試行錯誤を繰り返して、日々練習に励んできました。出場者は各々の個性溢れるスピーチを披露しました。



審査員のエリザベート先生と出場者のみなさん

優勝 2年6組 大吉優翔さん  
「とても緊張しましたが、ジェスチャーなどしっかりできたので良かったです。この喜びを、今まで練習に活かして、合った先生やクラスメイトに伝えたいです。来年、スピーチコンテスト」



ジェスチャーを交え発表する金澤さん

「本番でのスピーチがトップバッターだったので、足が震えるほど緊張しました。それでも発音やジェスチャーなど頑張りました。」

準優勝 2年6組 鷲谷琴美さん  
「去年は入賞できなかったのが今年に入賞できてよかったです。」

3位 1年5組 上野沙耶さん  
「本番も楽しくできました。練習の時にはうまくできていなかったのですが、3位という結果に思わずびっくりしました。結果に満足しています。」

4位 2年6組 齋藤花純さん  
「スピーチを完成させていました。いかに相手に自分の伝えたいことを伝えるようにするか、放課後も遅くまで頑張っていました。自分も何かに一生懸命になれる人間になれるように日々精進していきます。(佐藤)



優勝した大吉さん

でも、もっと練習していたら優勝できたかもしれないので、嬉しさ半分、悔しさ半分でいいです。」

### 編集後記

今回は、私はスピーチを聞いてみて、人前に出て、堂々ときれいな発音でスピーチをしているコンテスト参加者のみなさんはとてもすごいです。内容は少ししか分かりませんが、スピーチに懸ける思いを強く感じました。(猿山)